



1. 英語資格・検定試験の活用について

以下の入試において、英語資格・検定試験を活用する。

なお、対象とする英語資格・検定試験の種類は、大学入試センターが認定した全ての資格・検定試験とする。(大学入試センターが認定した資格・検定試験は、大学入試センターの公式サイト(<http://www.dnc.ac.jp/>)を参照のこと。)

また、英語資格・検定試験の成績は、2020年度入試の場合、2018年4月以降に受験したものを有効とする。

【文学部 推薦入試Ⅰ】

英語資格・検定試験の成績を書類審査に含めて評価する。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、任意とする。

【教育学部 AO入試】

学校教育教員養成課程中学校教育コース(英語)において、英語資格・検定試験の成績を書類審査に含めて評価する。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、任意とする。

【法学部法学科(昼間コース) AO入試】

英語資格・検定試験の成績を書類審査に含めて評価する。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、任意とする。

【法学部法学科(夜間主コース) 社会人入試】

英語資格・検定試験の成績を書類審査に含めて評価する。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、任意とする。

【医学部医学科 推薦入試Ⅱ】

英語資格・検定試験について、「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」(文部科学省作成)に基づくCEFR[※]のB1レベル以上の成績を修めていることを出願資格に加える。

【医学部保健学科 推薦入試Ⅰ】

英語資格・検定試験の成績を書類審査に含めて評価する。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、任意とする。

【環境理工学部 推薦入試Ⅱ】

英語資格・検定試験の成績を書類審査に含めて評価する。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、任意とする。

【農学部 推薦入試Ⅰ】

英語資格・検定試験の成績を「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」(文部科学省作成)に基づき得点化し、評価する。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、必須(出願要件)とする。

また、英語資格・検定試験の活用に伴い、小論文、面接では、英語力を問う出題はしない。

【グローバル・ディスカバリー・プログラム ディスカバリー入試】

[実績評価型]

英語資格・検定試験の成績を書類審査において加点の対象とし、個人面接において参考資料として用いる。

なお、英語資格・検定試験の成績の提出は、必須(出願要件)とする。

※ CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment:外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)



2. 学生募集の停止について

以下の入試において、学生募集を停止する。

【医学部保健学科】

◎専門高校・総合学科卒業生入試

現行

学部・学科等		募集人員
医学部保健学科	看護学専攻	4人以内
	放射線技術科学専攻	2人以内
	検査技術科学専攻	2人以内



変更後

学部・学科等		募集人員
医学部保健学科	看護学専攻	2020年度 入試から 募集停止
	放射線技術科学専攻	
	検査技術科学専攻	

注)募集を停止する専門高校・総合学科卒業生入試の募集人員は、推薦入試の募集人員に移行します。

【グローバル・ディスカバリー・プログラム】

◎国際バカロレア入試

現行

学部・学科等	募集人員
グローバル・ディスカバリー・プログラム	若干人



変更後

学部・学科等	募集人員
グローバル・ディスカバリー・プログラム	2020年度 入試から 募集停止

注)グローバル・ディスカバリー・プログラムでは、国際バカロレア入試による学生募集を停止しますが、国際バカロレア資格取得者(取得見込みを含む。)は、グローバル・ディスカバリー・プログラムの国際入試又はディスカバリー入試の受験が可能です。